

令和7年度事業計画書 <白楽荘・医務室>

テーマ：ICTの導入により、働き甲斐のある職場づくりを行い、安全・安心あるサービスの提供と質の高いケアを目指す

サブテーマ：ICT活用により、業務改善に取り組み、安全で質の高い医療・看護を提供する

1. ICT導入により情報共有の効率化を図り、安全・安心な医療・看護を提供する

- ①ICTを活用した情報共有や連携強化により、異常の早期発見・迅速な対応に努め、質の高い医療・看護を目指す。
- ②感染症発生時や災害時に備え、定期的に研修や訓練を行い、知識や技術の習得・ケアの統一を図り、安全・安心な医療・看護を提供する。

2. ICT活用によりリハビリ業務の効率化を図り、個別機能訓練の質を高める

- ①ICTを活用し、正確な情報の共有・ケアの統一を図り、利用者の安全を確保する。
- ②ケアカルテ導入により、記録に費やす時間や手間を削減し、個別機能訓練時間や利用者との関わりを増やし、生活機能の維持・向上を図る。

3. 利用者・家族の思いに寄り添う看取りケア

- ①新型コロナ感染症による面会制限の中、利用者・家族の意向、家族背景など、全職員が情報を共有することでその人らしい最期を迎えられるよう支援する。
- ②家族が安心できるよう日々の状況や変化を伝え、意向や思いに添えるよう支援を行う。

4. 働きやすく、楽しい職場作り

- ①感謝や労いの言葉かけを行い、良好な人間関係を築き、お互いのモチベーション向上を図る。
- ②ICT、ケアカルテ操作方法を習得できるよう、チーム全体で取り組む。
- ③業務に支障をきたすことがないよう、情報の伝達・共有の強化、チームケアの向上を目指す。